

魚梯ニ就テ

本文ハ水産講習所技師日暮忠氏カ曾テ内務省ニ於テ講演セシ所ナルカ工學上ノ參考トシテ有益ナル事項ト思惟セラル、ヲ以テ特ニ之ヲ登錄ス

私ハ水産講習所ノ日暮ト申ス者テアリマス今日ハ魚梯ノコトニ就キマシテ御話ヲ致シタイト存シマス實ハ私ノ専門ハ土木ノ方テアリマセヌノテ水産ト云フ方ガ専門ナノテアリマスカラ土木ニ關スル深イ事ノ御話ハ今日ハ出來マセヌテゴザイマスガ魚梯ノコトニ關シマシテハ色々關係シテ居リマスノテ多少調査モ致シマシタカラ其ノ大體ノ構造ソレカラ又日本テ今マデ造リマシタ魚梯ノ構造ヤ其成績ソレカラ河川魚類ノ蕃殖保護ナトニ關スルコトニ就キマシテ少々御話申シマシテ御參考ニ供シタイト存スルノテアリマス

此ノ魚梯ト申シマスモノハ魚ノ梯ト書イテアリマスガ英語テふいっしゅらだ (Fish Ladder) ト云フノヲ直譯致シマシタノテ詰リ高イ處へ梯子ヲ昇ルヤウニシテ魚ヲ上スト云フノガ目的デアリマシテ或ハ又魚道トモ申スノテアリマス魚道ト言ヒマスノハ落差ノ極ク低イ所テ極ク流ヲ緩カニシテ魚ノ上ルヤウニシタノヲ言ツテ居リマスノデ魚梯ト言ヒマスト少シ落差カ高クテ水溜カ段々ニ出來マシテ梯子ヲ昇ルヤウニ魚カ一段ツ、上レルヤウニシタノヲ魚梯ト申シテ居ルノテゴザイマス此ノ魚梯ハ歐米諸國テハ餘程以前カラ方々へ造ラレテアリマシテ書物ナトニモ大分出テ居リマスソレハ天然ノ瀧カアリマス所へ之ヲ造リマシテ魚カ以前天然ニハ上レナカツタ所へ上レルヤウニシタノモアリマスソレカラ又近年工業カ段々發展シマシテ堰堤ヲ川へ築イ

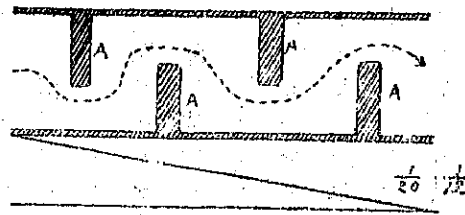
テソレガ爲ニ魚カ上レナクナツタ處へ所謂魚道トカ魚梯ト云フモノヲ造ルヤウニナツテ來タノ  
 テアリマスガ歐羅巴テモ殊ニ獨逸ナトテハ工業家カ或ハ水力電氣ヲ起ストカ或ハ水車ニ利用ス  
 ル爲ニ堰堤ヲ築クヤウナ場合ニハ必ス魚梯ハ造ラナケレハナラヌヤウニナツテ居ルノテアリマ  
 スソレテ四五十年前以來大分方々へ魚梯ト云フモノガ造ラレ其例カ澤山アルノテアリマス所カ  
 日本テハ今マテ餘リ人カ注意シマセヌノテ天然ノ瀧ノ所ハ勿論人工テ堰ヲ造ル場合ニモ魚ヲ上  
 スト云フヤウナコトニハ今マテ餘リ注意ツレナクテ堰堤カ出來テ以來魚カ終ニ上ラナイソレカ  
 爲ニ漁師ヤ何カガ大分苦情ヲ言ツテ居ルコトモ私共能ク聞及フノテアリマス日本テモ餘程以前  
 明治ノ初年頃ニ水産ノ當局者ガ儘カ青森縣ノ十和田湖ダト思ヒマシタガアノ湖カラ出ル川筋  
 ニ瀧カアルノテ其ノ瀧ニ魚梯ヲ造ツテソレテ魚カ湖水ニ上レルヤウニシヤウト云フ計畫ヲシタ  
 トカ云フコトヲ聞イテ居リマシタガソレハ構造モ無論惡カツタノデセツカ壞レテ其ノ後其ノ儘  
 ニナツテ居ツテ今日デハ其ノ場所ナトハ先ツ湖水ノ方テ養魚ノ計畫ヲヤツテ居リマスカラ下カ  
 ラ魚ヲ上サヌテモ濟ンテ居ル狀態テ別ニ上スト云フヤウナ計畫ハシテ居リマセヌガ兎ニ角之レ  
 カ日本テ水産ノ當局者カ魚梯ヲ造ラウト云フ計畫シタ始メデアツテ夫以來近年迄之ヲ造ラレタ  
 例カアリマセヌ

所カ其ノ後近年明治三十八九年頃ニナリマシテ私共ノ聞キマシタ所ニ依リマス内務省テ淀川  
 改修工事トシテ滋賀縣ノ琵琶湖カラ出ル瀬田川中南郷村ニ洗堰ヲ設ケ全川ヲ仕切ラレタ爲ニ下  
 ノ方カラ上ツテ來ル魚カ湖水ニ這入レナクナツタト云フノテ漁師ナトガ喧マシク言ツテ魚梯ヲ  
 造リタイト云フ希望カアリマシタガ儘カ洗堰ノ出來マシタ當時滋賀縣知事テアラレタ川島ト云  
 フ方カ大分熱心ニ魚梯ヲ造ルコトヲ主張サレ時ノ水産講習所長松原新之助氏ニモ詢ラレマシタ  
 ガ水産講習所ニ於キマシテモ段々日本ニモ水力電氣ナトカ澤山出來テ行キ河川魚類ノ通路ヲ遮

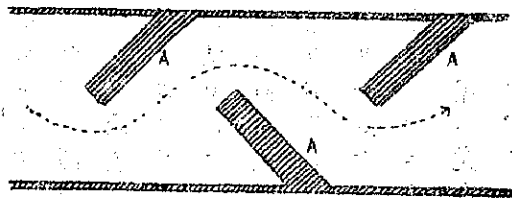
斷セラル、ニヨリ魚梯設置ノ必要ヲ認ムルガ日本ニハ未タ其例カナイ故ニ先ツ試験ヲシテ見ル  
 必要ヲ感シマシタ即チ第一ニ魚梯ト云フモノ、構造ソレカラ其ノ効果ト云フコトニ就キマシテ  
 試験ヲスル必要ヲ感シマシタノテ前申シタ瀬田川洗堰ニ魚梯ヲ一ツ拵ヘテ見ヤウト云フ相談ヲ  
 シマシテ色々設計モ致シマシタガ兎ニ角洗堰ハ工事モスツカリ完全ニ出來テ居ツタ時テアリマ  
 スカラ之ニ理想的ノ魚梯ヲ造ルトナルト今マテ出來テ居ル工事ヲ壞サナケレハナリマセヌソウ  
 スルノハ餘程費用モカ、リマスカラ先ツ簡單ナ魚梯ヲ造リ試験シテ見ヤウト云フコトテ内務省  
 ニ御相談申シマシテ其ノ御同意ヲ得テ右ノ堰ニ鰻ノ魚梯ヲ造ツテ見タノテアリマス是カ大正元  
 年ノコトテアリマシタ此魚梯ト申スハ堰ノバトバトあトバトあト間ノ堰板ニ小サナ一尺方形バカリ  
 ノ樋ヲ作ツテ取付ケタノテアリマシテ極ク小サナ玩具ノヤウナモノテアリマスソレテ鰻ノ上ル  
 工合ヲ試験ヲシテ見マシタノテゴサイマス所ガソレガ大分成績カ良イ方テアリマシテ大分上ル  
 ノヲ認メマシタ是ハ尙ホ後テモウ少シ詳シク申上ケマス  
 夫以來各所テ魚梯カ造ラレマシタ即チ大分縣テモ大正二年ニ大野川ニ三箇所バカリ造ラレソレ  
 カラ大正四年ニナリマシテ三重縣ノ橿田川ソレカラ神奈川縣ノ酒匂川ニ魚梯カ出來マシタ尙ホ  
 其ノ外ノ川テモ今日マテニ水力電氣ノ堰堤ノ出來マス所テ魚梯ヲ造ラレタ所カ約十箇所バカリ  
 アルヤウニ思ヒマス兎ニ角今日テハ大分方々テ魚梯ト云フコトニ注意サレマシテ所々ニ出來テ  
 來ルヤウニナツタノテアリマス  
 ソコテ此ノ魚梯ノ構造ト云フコトニ就キマシテ大體御話ヲシテ置キタイト思ヒマス魚梯ノ構造  
 モ魚ニ依ツテ多少違ヘナケレハナラヌノテアリマス歐羅巴ニアリマス魚梯ト云フモノハ大抵ハ  
 鮭ト鯪カ主ニナツテ居ルノテアリマス其ノ外鰻モアリマスガ併シ鮭鯪カ主ナモノニナツテ居リ  
 マシテ其ノ目的テ大抵造ラレテ居ルノテゴザイマスソレテ歐羅巴ニ今マテ出來テ居リマス普通

ニアル魚梯ノ大體ノ構造ヲ申シマスト一ツハ傾斜シタ水路即チ餘リ急テナイ緩カナ傾斜ノ水路ヨリ成ル所謂傾斜式ノモノトソレカラ一ツハ所謂すてっぷ(Step system)ト言ヒマシテ階段狀ノモノ詰リ水溜リカ段々ニナツテ居ルノト此ノ二通りニナツテ居ルノテアリマスソレテ此

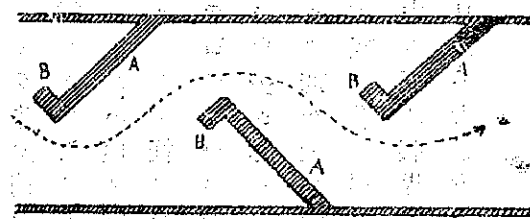
第一圖



第二圖



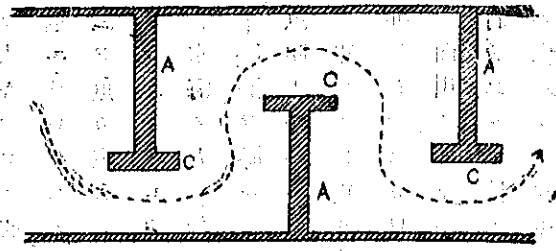
第三圖



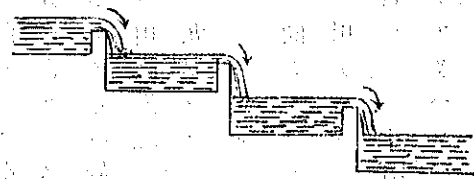
フ風ナモノ(B)ヲ附ケタノモアリマス(第三圖)ソレカラ尙ホ又色々複雑ニナツテ來マスト斯ウ云フ風ナモノ(C)ヲ附ケマシテ成ヘク流速ヲ緩カニスル方法ヲ講シタノモアリマス(第四圖)斯ウ云フヤツニ色々ノ隔壁ノ附ケ方カアリマスカス等ハ皆先ツ傾斜式ノモノテアリマスソレカラ階段式テアリマスト云フト斯ウ云フ風ニ(第五圖)水溜リカアツテ是カラ溢レタ水カ段々落チテ下ヘ行

ノ傾斜ノ式テアリマスト落差ノ極ク低イ所テアリマスレハ唯傾斜ノ水路テ水路ノ底面ヲ幾ラカ粗造ニ造ツタモノテ足リルノテアリマス併シ少シ落差カ高クナリマスト云フト隔壁ヲ横ニ造リマシテ水勢ヲ緩カニスルノテアリマス(第一圖)詰リ斯ウ云フ水路ニ隔壁(A)ヲ設ケマシテ矢ノヤウニ水カ流れルヤウニスルノテアリマス此ノ傾斜面ハ大抵二十分ノ一カ極ク急ニシテモ十二分ノ一位ニシマシテソウシテ斯ウ云フ隔壁ヲ設ケルノテアリマス尙ホ又此ノ隔壁ガ直角ニナラナイテ斜ニ隔壁ヲ造ツタノモアリマス(第二圖)其ノ隔壁ノ尖端ヘ持ツテ行ツテ斯ウ云

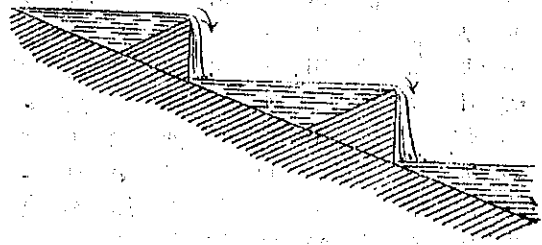
クト云フヤウニナツタノガ先ツ階段狀ノ普通ノテアリマスケレトモ又斯ウ云フ風ニヤル代リニ傾斜面ノ水路ニ斯ウ云フ風ニ(第六圖)縦ニ堰堤ヲ拵ヘマシテ是カラ溢レテ落シテヤルノモアルノテアリマスソレカラ斯ウ云フ風ニ階段狀ニナツテ水溜リニナツテ居ル此ノ隔壁カ上カラ見マスト全ク右岸カラ左岸マテ同シ高サテヤツテアルハトソレカラ隔壁ノ縁ノ方ヲ切下ケテ水ノ少イ時ニハ其處カラ流スヤウニシタノモアリマス(第七圖)ソレカラ又或ル物ハ此ノ堰堤ノ下ノ方ヘ孔ヲ穿ケマシテ魚ハ上カラ飛越エテ行ク外ニ下ノ方ノ孔カラ潜ツテモ行ケルヤウニナツテ居ルノモアルノテアリマス(第八圖)斯ウ云フ色々ナヤリ方カアルノテアリマスケレトモ大體大別スルト



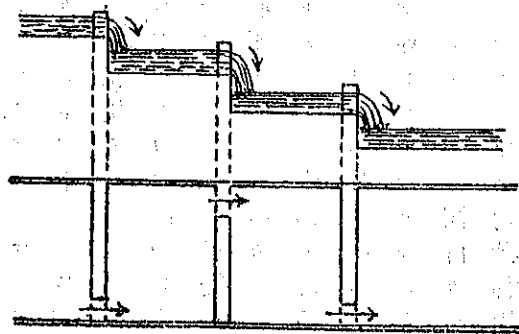
第四圖



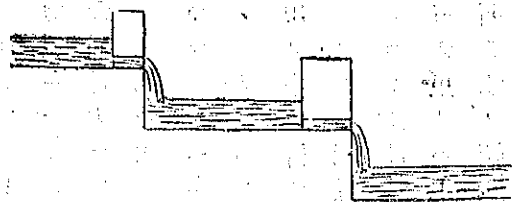
第五圖



第六圖



第七圖



第八圖

階段ノ式トソレカラ斜面ニナツテ居リマス式ト此ノ二ツカ主ナル區別テアリマス其ノ外ニ逆流式ナト、云フノカアリマシテ水路ノ流レル間ニ逆流ヲ起サシテ下へ落ナル水ノ速度ヲ緩カニスルヤウナノモアリマス

ソレテ大體歐羅巴ノ鮭鱒ニ就キマシテ今マテ出來テ居リマス魚梯ノ構造ハソウ云フヤウナ譯デアリマスガ日本テ之ヲ造リマス時ニハ構造ハ是タケノコトデアリマスケレトモ落差テアリマストカ或ハ水溜リノ幅テアルトカ長サテアルトカ深サテアルトカ云フヤウナコトハ魚ニ依ツテ多少違ヘル必要カアルノデアリマス例へハ鮭鱒ノヤウナ大キナ魚テアリマストドウシテモ水溜リヲ大キクスル必要カアリマスシソレカラ又飛越エルニシマシテモ大キイ魚ナラ随分高イ所モ飛越エラレマスカラ一段ツ、ノ落差ヲ高クシテモ良イ譯テアルノデアリマスソレテ日本テハドウ云フ魚カ主テアルカト言ヒマスト勿論鮭鱒モ日本ニ居リマス鮭テ申シマスト北海道ニハ無論居リマスシソレカラ本土ノ方ニ於キマシテモ太平洋ノ方ハ利根川カラ北部ノ方ハ大抵居リマスシ日本海ノ方へ行クト山陰道邊マテ一回ニ居ルノデアリマスソレカラ鮭ハ日本テハ大抵全國ニ一臺灣ヲ除キマシテ九州カラ北海道マテ居ルノデアリマスソコテ此ノ鮭鱒ニ就キマシテモ勿論魚梯ノ必要ハアリマスケレトモ今マテノ所鮭鱒ニ就テ必要ノ起ツタ所カナイノデアリマスソレハ鮭テスト(鮭モ鱒モ同シテアリマスガ)川へ上ツテ來ルト云フノハ産卵ノ目的テ川ノ中テ皆ナ産卵ヲシマスガ日本ノ川テハ餘リ上流マテハ參ラナイノデアリマス近イ所ニナリマスト新潟縣ノ三面川ノ如キハ河口カラ二十町位——長クテ一里位ノ所テ産ンテシマヒマシテソレヨリ上流へハ行カヌテモ濟ムノデアリマス又幾ラカ長イ信濃川ナトニナリマスト河口カラ十五六里位ハ上流ニ參ルデセウガ其邊ニ産卵爲シ夫ヨリ上流へハ餘リ上リマセヌ兎ニ角砂利川ノ所テ水ノ綺麗ナ所デアリマスレハ河口ニ極ク近クトモ産卵ヲズルノテス歐羅巴或ハ亞米利加ノ川デアリマス

テアリマス。ト云フト大抵堰堤ナトノアル所カ極ク上流テアリマス。カラ鯉ノ溯上ノ爲ニ魚楸ヲ造ルト云フヤウナ場所ハ割合ニ例カ少イノテアリマス。鯉テアリマス。トズツト上流マテ行ク魚テ極ク上流ノ方ヘ行ツテ産卵ヲスルノテアリマス。カラ是ハ無論其ノ途中ヲ留メラレルヤウナコトカアリマス。ト蕃殖上大ニ害ニナルノテアリマス。併シ(北海道ノ鯉ハ別トシマシテ)日本ノ本土ノ方カラ南ノ方ニ居リマス。鯉ハ大抵ハ上流ノ方ニ居リマス。所謂やまめトカあまごトカ云フヤウナ魚テ上流ノ方ニ始終居ツテ上流テ産卵ヲシテ上流テ育ツテ居ルモノカ多イノテアリマス。詰リ鯉ハ上流ハ上流タケテ生活シテ行クコトカ出來ルノテアリマス。カラ日本ノ場合テアリマス。ト大抵鯉ハ下ノ方カラ上ツテ行ツテ産卵スルト云フ場合カ少イノテアリマス。最モ北海道或ハ東北地方ニ行キマス。ト多少海カラ上ツテ上流マテ行ツテ産卵スル鯉カ居リマス。ケレトモ本土テハ割合ニ其ノ例カ少イノテアリマス。

日本テ何處ノ川ニ行キマシテモ水ノ綺麗ナ川ニ居ツテ一重要ナ魚ハ鮎テアリマス。此ノ鮎ト云フ魚ハ日本ニタケ居ル魚テ歐羅巴ニハ居ラナイノテアリマス。ソレテ此魚ハヤハリ鮎ノ類ノ魚テアリマシテ性質ハ餘程似寄ツテ居ルノテアリマス。ケレトモ又餘程遠ツテ居ル鮎モアリマス。ソレハ鮎ノ産卵ヲスル場所ハ先ツ砂利川ノ所テアリマシテ餘リ上流テハナイ。幾ラカ下流ノ方ヘ近イソウカト言ツテ餘リ海ニ近イ方テハアリマセヌガ。兎ニ角砂利ノアル區域テアリマス。其處テ産卵ヲシマシテ其ノ鯉ツタ子ハ直チニ海ヘ出テ行ツテシマス。ノテアリマス。此處ヘ御參考ニ持ツテ參リマシタガ是カ鮎ノ卵テアリマス。(標本供覽)是ハ人工テ受精ヲサセタノテアリマス。カ天然ノハ砂

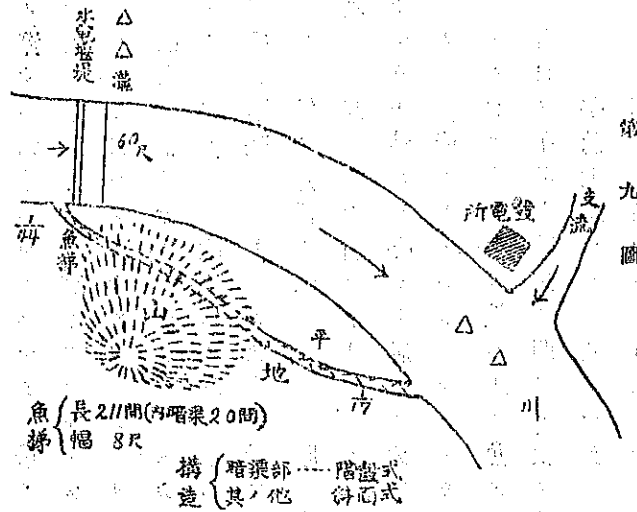
利川ニ行キマシテ砂利ニ産付ケルノテアリマス。詰リ川ノ灘ニナツテ居ル所へ來テ産ミマシテ産ミマス。ト直ク卵カ砂利ニ附着シテシマフノテアリマス。此ノ産卵ガ丁度十月頃テアリマシテソレガヲ約三週間バカリ經ツト孵化シマス。其ノ子ハ極ク小サナ針ノヤウナモノテアリマシテ卵ルト直ク海へ出テ行ツテシマヒマス。ガソレガ丁度十一月頃ニナリマス。デスカラ十一月カラ十二月ニカケテ河口テ獲リマス。ト斯ウ云フ小サイ鮎ノ子カ獲レルノテアリマス。(標本供覽)ソレカラ十二月一月頃ニナルト此ノ位ニナリマシテ是ハ勿論海ニ居ルノテアリマス。(標本供覽)ソレカラ翌年ノ二月三月頃ニナルト此ノ位ノ鮎ノ子ニナリマシテ是モ海ニ居リマス。ケレトモ此ノ頃カラ川へ上ツテ來マシテソレカラ段々上流ニ何處マテモ上ツテ行クノテアリマス。(標本供覽)ソウシテ何處マテモ上流ニ行キマシテ瀧テモアツテ行カレナケレバ其處テ留マツテシマヒマス。ケレトモ行ケル限リハ上流ノ方ヘズンズン行クノテアリマス。其ノ間ニ餌ヲ取ツテ段々大キクナルノテス。ソウ云フ譯テ十月頃卵カラ出マシテ一月二月迄ハ海ニ居リマシテ海ノ中テ小サイ蟲ヲ喰ツテ生長シテ居ルノテアリマス。ガソレカ段々川へ上ルヤウニナル。三月カラ四月頃ニナリマス。ト口ナトノ構造カ全ク變ツテ參リマス。初メ海ニ居ル間ハ普通ノ鮎ノヤウナ口ヲシテ居ルノカ川へ上リマス。ト普通ノ鮎ノヤウニナリマシテ齒カ弱クナツテシマツテ詰リ石ニ着イテ居ル水垢。其ノ中ニハ小サイ蟲モ着イテ居リマス。ガ所謂だいやとむト申シマス。硅藻科植物ヲ取ツテ喰ツテ居ルノデソレニ依ツテ段々大キクナルノテス。ソレデソウ云フ餌カ石ノアル所。或ハ岩ノアル所テアルト澤山アルケレトモ泥ノアル區域トカ或ハ砂ノ多イ區域テアルト之ニ乏シイノテス。ソレテアルカラ川へ這入ツテカラハ下流ニ居ツテバ育タナイ上流マテ行ク程能ク育ツノテアリマス。ソレテ此處へ今回行キマシテ取テ來タ標本ガアリマス。カ是ハ淀川ノ上流宇治川ノ中ノ宇治町ノ少シ上ノ志津川ト云フ所テ六月八日ニ獲リマシタ鮎テアリマス。(標本供覽)上流ニ行キマス。ト此ノ位ノ鮎カ普通ノモノテ



事ニ依ルトモウ少シ大キイノモアリマスシモウ少シ小サイノモアリマス所ガ同シ時ニ——六月  
 十一日ニ大阪ノ毛馬ノ起伏堰ノ下ニ滯ツテ居ル鮎ヲ獲ラシタ所ガ此ノ位ノ鮎テアサマズ標本供  
 覽極ク小サナ者テアリマスガ是カ上流マデ上ルトシマスレハ前ノ位ニハ少クトモナル上流ニ行  
 キマスト此ノ前ノ位ノ鮎ハ漁師カ一人ヲ五尾カ十尾餘計獲ツタ人ヲ二千尾モ取ルト云フノハ稀  
 テアリマスガ此ノ後ノ方ハ先日大阪ヘ行キマシテ夜三時カラ朝ノ六時マデノ間ニ四手網ヲ獲ラ  
 シタノテスガ其ノ間ニ斯ウ云フ鮎カ六百尾バカリ獲レタ是ハ非常ニ瘠セテ居リマスガソレハ下  
 流デ鮎ノ元來ノ餌ガア、云フ場所ニハ乏シイカラデアリマシテ春一二月頃ノ状態デアリマスレ  
 ハ口ノ構造カラ言ヒマシテモ蟲ヲ喰ツテ居リマスカラ河口ノ所デモ餌ガ十分アリマスケレドモ  
 ソレヨリ大キクナツテ鮎ノヤウナ口ニナリマスト石ニ附イテ居ル垢ホカ喰ハナイ而シテ下流ニ  
 ハサウ云フモノカ乏シイノデ育タナイソレテ非常ニ瘠セテ居リマス若シ此ノ儘ニシテ置キマス  
 ト益々瘠セテシマツテ遂ニハ死ンテシマフカ或ハ外ノ魚ニ喰ハレテシマフヤウナ結果ニナルコ  
 ト、思ヒマス勿論此ノ大キイ方モ宇治川デヤハリ大阪ヲ通ツテ行ツタ鮎テアリマスカラ今テモ  
 上ツテ居ル鮎モ無論ナイノテハアリマセヌアルノテアリマスケレトモ兎ニ角堰カアリマス爲ニ  
 上ルノカ餘程困難ニナツテ居リマス勿論丈夫ナ鮎テアリマスト所謂雨カ降ルトカ或ハ又上下ノ  
 水位ノ差ニ依ツテ上リ易イ機會モ其時季ニ必スアルニ違ヒナイカラサウ云フ時ニ上ルトカ或ハ  
 起伏堰ノ堰板ヲ倒ス機會モアリマスカラサウ云フ時ニ上ツテサウシテ大キクナツタノテアリマ  
 セツガ兎ニ角斯ウ云フ滯ツテ居ル鮎カ毛馬ノ堰ノ下ニ墮分アルヤウニ見受ケルノテアリマスサ  
 ウ云フ譯テ鮎ニ就キマシテハ之ヲ大キクシテ立派ナ鮎ニ育テヤウト云フ場合ニハドウシテモ上  
 流ニ上サナケレバナラナイ上流ニ行カセナイトスルト終ニハ折角出來タ魚兒カ無駄ニナツテ或  
 ハ死ンテシマフヤウニナルノテアリマス此ノ鮎ハ價格ニシマスト太キイ方テアルト一尾拾錢内

外シテ居リマスガ小サイノテアルトアレヲ獲ツテ賣ツテモ殆ト商賣ニナラヌト云ツテ獲ラ子イ  
 ノテ殆ト買手モナイト云フヤウナ安イモノデアル日本ノ大抵ノ川ニハ鮎ハ棲息シテ居リマスガ  
 ラ段々水力電氣ナトカ出來ルヤウニナツテ堰堤ナトガ方々へ築カレマスト此魚カ第一ニ其ノ影  
 響ヲ被ムル次第テアリマス  
 ソレカラモウ一ツハ鰻テアリマスガ鰻ハ鮎ト少シ違ヒマシテ川ノ中テハ産卵ヲシマセヌ海ニ行  
 ツテ産卵ヲスル魚類テアリマス十年モ經ツタ二百目モアルヤウナ鰻ハ所謂下リ鰻ト云ツテ河カ  
 ラ海へ下ツテシマヒマシテ海ノ深イ所へ行ツテ産卵ヲシマシテ其ノ孵ツタ子カ二三月頃ヤハリ  
 鮎ノ上ル時期ト同シ時期ニ川へ向ツテ上ツテ來ルノデアリマス其ノ時上ル鰻ト云フノハコンナ  
 ヤウナ鰻テアリマシテ標本供覽是ハ御承知テモアリマセウガ春ニナルト隨分澤山獲レルノテ夜  
 中川岸ヲ掬ヒマスト上ル盛ノ時ニハ非常ニ群ヲ爲シテ來マスカラ何千或ハ何萬ト云フモノヲ容  
 易ニ掬フコトガ出來ル程上ツテ來ルノデアリマス是カ段々上ツテ何處マテモ上流ニ行キマシテ  
 サウシテヤハリ鮎ト同シヤウニ淡水ノ小動物ヲ喰ツテ大キクナツテ二三百目位ニナツテ初メテ  
 海ニ下ツテ行クノデアリマスツレテ此ノ鰻ト云フ魚ハヤハリ日本テハ重要ナ魚類テアリマシテ  
 今ノ所日本ノ川テハ鮎ト鰻ト云フモノカ主ナ魚類ニナツテ居リマス之ヲ所謂湖河魚類ト云ツテ  
 居リマシテ海ト川ノ間ヲ始終往復シテ居ル魚類デアリマス其ノ他ノ鰻トカ鱈トカウグヒトカ云  
 フ魚類デアリマストサウ回游シナイテモ或ル場所ニ留ツテ居テ生育出來ルモノデアリマスカラ  
 魚梯ナント云フ問題カラ言フト重キヲ措カヌテモ宜イ譯デアルノテスソコデ前ニ申シマシタヤ  
 ウニ歐羅巴テ造ツテアリマス魚梯ハ主ニ鮎トカ鱈トカ云フモノニ就テ設ケタモノデアリマスガ  
 日本テハ魚梯ヲ造ルトスレハ先ツ今申スヤウニ多クノ河テハ鮎ヲ主眼トシテ造ル必要カアルノ  
 テスソコテ鮎ニ對シテハ下ノ位ノ魚梯ヲ造レハソレテ完全ニ上スコトカ出來ルカト云フコトニ

參考資料 魚梯ニ就テ



就キマシテ色々調査スル必要カアリマシテ今マテ造ラレタ魚梯ヤ或ハ造ラントスル魚梯ヲ設計スル場合ニモ色々研究シテ見タノテアリマスガ未ダ十分ニ是ナラハ完全ト云フ迄ノ試験モ出來マセスケレトモ今日マテニ就テノ結果ヲ御話シ致サウト存シマス

ソレテ鮎ノ魚梯ニ就キマシテ今マテ造リマシタ中テ一番落差ノ高イト思フノハ大分縣ノ沈墮ノ瀧ノ所ヘ設ケテアル魚梯テアリマス此ノ瀧ハ天然ノ瀧テアリマシテ巖カ切立ツテ居リマシテ其處ヲ落チルノ落差カ六十尺バカリアルノテアリマス其處ヘ大分縣ノ大分郡デ大正二年ニ造ラレタノテスガチヨツト書イテ見マス(第九圖)斯ウ云フ風ニ川カアツテ此處ニ瀧ガアル此ノ岸ハ山カ接近シテ居リマシテ其ノ下ハ平地ニナツテ居ルソコテ此ノ魚梯ハ丁度此ノ瀧ノ上流ノ所ニ水力電氣會社テ堰堤ヲ造ツテアリマスカラ其處カラ水ヲ取リマシテ山ノ中ヲ隧道ニ水路ヲ造リマシテソレカラ此ノ邊ニ水ノ吐キ口ヲ出シタノテアリマスデ魚梯ノ長サカ二百十一間アリマシテ其ノ中暗渠ニナツテ居ル所カ二十間バカリアリマスサウシテ其ノ構造ハ暗渠ニナツテ居ル僅カノ間ハ階段ニナツテ居ツテアトノ所ハ所謂スロース(Slope)式テ隔壁ヲ左右カラ出シテアリマス此ノ水路ノ幅カ八尺アルサウシテ此ノ傾斜カ下方ハ七分ノ一バカリニナツテ居リマスガ上ノ水ノ取入口ノ所ハ四分ノ一バカリニナツテ居リマスソレカラ此ノ水路ヲ流レル水

處ヲ落チルノ落差カ六十尺バカリアルノテアリマス其處ヘ大分縣ノ大分郡デ大正二年ニ造ラレタノテスガチヨツト書イテ見マス(第九圖)斯ウ云フ風ニ川カアツテ此處ニ瀧ガアル此ノ岸ハ山カ接近シテ居リマシテ其ノ下ハ平地ニナツテ居ルソコテ此ノ魚梯ハ丁度此ノ瀧ノ上流ノ所ニ水力電氣會社テ堰堤ヲ造ツテアリマスカラ其處カラ水ヲ取リマシテ山ノ中ヲ隧道ニ水路ヲ造リマシテソレカラ此ノ邊ニ水ノ吐キ口ヲ出シタノテアリマスデ魚梯ノ長サカ二百十一間アリマシテ其ノ中暗渠ニナツテ居ル所カ二十間バカリアリマスサウシテ其ノ構造ハ暗渠ニナツテ居ル僅カノ間ハ階段ニナツテ居ツテアトノ所ハ所謂スロース(Slope)式テ隔壁ヲ左右カラ出シテアリマス此ノ水路ノ幅カ八尺アルサウシテ此ノ傾斜カ下方ハ七分ノ一バカリニナツテ居リマスガ上ノ水ノ取入口ノ所ハ四分ノ一バカリニナツテ居リマスソレカラ此ノ水路ヲ流レル水

ノ深サハ六寸ばかりニナツテ居リマス此ノ工事ノ費用カ二千三百九十一圓ばかり掛ツテ居ツテ大正二年三月ニ出来上ツタモノテアリマス是ハ今マテハ天然ノ瀧テアリマシテ魚カ少シモ上流ニハ行キ得ラレナカツタノテアリマスガ之ヲ造ツテカラ多少ハ上ツタヤウナ狀況テアリマス其ノ統計ハ能ク分ツテ居リマセヌカラ詳シクハ申上ケラレマセヌケレトモ兎ニ角上ルコトハ上ツタノテアリマス唯土地ノ者ノ申ス所ニ依リマスト途中ニ暗渠カアル隧道ニナツテ居ル爲ニ鮎カ其所テ躊躇シテ上リカ悪イト云フコトテアリマス

ソレテ鮎ノ魚梯ト云フモノハ暗イ方カ宜イカ明ルイ方カ宜イカト云フ問題テアリマスガ今マテ調ヘテ見マシタ所ニ依リマスト鮎ノ上ルノハ主ニ日中ノ明ルイ時テアリマシテ夜ハ殆ト動カナイヤウナ性質ヲ有ツテ居ルノテアリマスソレハ昨年滋賀縣ニ行キマシテ鮎ニ就テ夜ト晝ト何時頃カ一番能ク上ルカト云フコトヲ試験シテ見マシタ詰リ小サイ雛型ノ魚梯ヲ造リ之ヲ河ニ据付ケマシテサツシテ天然ニ上ル魚ノ數ヲ算ヘテ見タノテスガソレニ依リマスト前日ノ午後六時カラ翌日ノ午前七時迄ノ間詰リ夜ノ時間ニハ僅カ二尾シカ上ツテ居ラヌソレガ日中ニナリマスト

午前七時カラ 八時マテ 二尾

同 八時カラ 九時マテ 一尾

同 九時カラ 十時マテ 四尾

同 十時カラ十一時マテ 四尾

同 十一時カラ十二時マテ 十七尾

午後零時カラ 一時マテ 十五尾

同 一時カラ 二時マテ 十九尾

同 二時カラ 三時マテ 十二尾

同 三時カヲ 四時マテ 四尾

同 四時カラ 五時マテ 二尾

ト云フヤウナ譯テ是ハ二三度ヤツテ見マシタガ何レモ十二時頃カラ三時頃マテノ間カ一番餘計上ル其ノ後三重縣ノ櫛田川ノ魚梯ニ就テ上ル模様ヲ見マシテモヤハリ晝間ノ十二時カラ三時頃マテノ間カ一番能ク上ルノテアリマスソコテドウモ鮎ノ魚梯ハ暗クシテシマフノハ餘リ良クナイヤウニ思フデアルカラ此ノ大分縣ノ魚梯ナトテ隧道ヲ造ツテ暗クシタノハ地勢上已ムヲ得ナイノテアリマスケレトモ出來ルナラハ成ヘク暗渠ニシナイテ明ルクシテヤツタ方カ上リカ良イヤウニ考ヘラレマス鱒ヤ或ハ鮭ニナルト其ノ點ハ違フノテアリマスケレトモ鮎ニ就テハ明ルイ方カ必要テアルト云フコトハ認メテ居ル併シ暗渠ニナツテ居ルカラト言ツテ必シモ絶對ニ上ラヌト云フコトハ言ヘナイノテアリマシテ多少其ノ暗イ所マテ行クト留ツテシマツテ上リハ惡クナリマスケレトモ上ラヌト云フ譯テハナイノテアリマシヤハリ上ルコトハ上リマスケレトモ下チラカト言フト明ルクシテ置イタ方カ上リカ良イヤウニ認メラレテ居ルノテスツレカラ此ノ魚梯ニ就テ考フヘキコトハ水ヲ吐ク口テアリマスデ水吐キ口ノ一番良イ位置ト云フノハ瀧ノ直ク下ヘ持ツテ行クノガ一番良イノテアリマスケレトモ此ノ大分縣ナトノ場合テアリマス(第九圖)此處ニ發電所カアリマシテ堰堤カラ取ツタ水ヲ此處テ發電所ヘ入レマシテ又水ヲ排出シテ居リマス尙ホ此處ニ一本支流カアツテ瀧カアリマシテ此ノ邊ニ割合ニ多ク水カ溜ツテ居リマシテ此處カラ上ノ瀧マテノ間ハ水カ僅カシカナイヤウナ状態テアリマスカラ魚ハ多ク此ノ支流ノ口ノ邊ヘ溜ルサウ云フ關係カラ水吐キ口ヲ此處ヘ設ケタ譯テアリマスカラ斯ツ云フヤウナ場合ニハ或ハ是テ差支ナイト思ヒマスガ地勢ニ依リマシテ成ヘク水ヲ吐ク口ト云フモノハ水カ始終アツテサウシテ魚ノ溜ル所ヘ持ツテ來ルト云フコトカ必要ナコトテ詰リ成ヘクハ此ノ魚梯ノ口ノ所

214

へ他ノ水ヲ溜メテ持ツテ來テサウシテ魚梯ノ口ノ方へ魚カ寄ルヤウニ導クコトカ必要テアルノ  
 テアリマスサウ云フ點カラ言ヒマシテ瀧壺ノ直ク脇ニ落チ口ヲ持ツテ來ルト云フコトカ先ツ必  
 要ナコトテアリマスケレトモ多クノ場合サウ云フコトカ困難ナ場合カアリマス又大變工事モシ  
 惡イト云フヤウナコトカアリマスカラ必スシモサウ實行出來ヌケレトモ理想トシテハ成ヘク瀧  
 壺ニ近イ所へ口ヲ出スヤウニシタイノテアリマス  
 ソレカラ階段ニシタノトソレカラ斜面ニシタノトドチラガ良イカト云フコトテアリマスソレテ  
 或ル人ノ説テハ餘リ飛ンテ行カナイ下ノ方ヲ水ニ沿フテ潜ツテ泳イテ上ツテ行クモノテア  
 ルカラ階段ニスルヨリモ斜面ニシタ方カ上リカ良イト云フコトヲ申シテ居ル人モアリマスガ併  
 シ私共ノ見ル所ニ依リマスト是ハドチラテモ差支ナイト思フノテス隨分粘モ飛上ル力ハ強クア  
 リマシテ私共ノ實驗ニ依リマシテモ三尺位ノ所ハ飛上ル場合ヲ能ク認メルノテアリマス勿論粘  
 ノ大小ニ依リマシテ——二寸位ノ粘テアリマスレハ三尺マテハ飛ヘヌカモ知レマセヌケレトモ  
 大キイ方ノ粘テアリマスレハ三尺位ノ所ハ飛ヒ得ラレルソコテ盛ニ上ル時期テアリマスト階段  
 テモズンズン飛ンテ上ツテ行キマスソレカラ又斜面ノ所テモズンズン上ツテ行ク性質ノモノテ  
 アリマスカラ是ハドチラテモ差支ナイト思ヒマス併シ日本ニ今マテ魚梯ヲ造ル場合ニハ私共ノ  
 記憶シテ居リマス所テハ大抵落差カ急テアリマシテ普通ノ斜面ノ水路ニシマスト幾ラ急ニシテ  
 モ十分ノ一ヨリ急ニハ出來ナイ成ヘク二十分ノ一カ二十五分ノ一位ノ斜面ニシナケレハナラナ  
 イノテアリマスカラサウシマスト非常ニ水路カ長クナツテ其吐キ口カ瀧トカ或ハ堰堤カラ非常  
 ニ遠ザカツテシマフヤウニナリマスカラサウ云フ點カラ今マテ私共ニ御相談ノアツタ場合ニハ  
 大抵階段式ニスルヤウニ申シテ居ルノテアリマス階段式テアリマスト五分ノ一位ノ勾配テモ一  
 向差支ナイ大抵階段ノ一段ノ落差ヲ先ツ一尺位ニシテ置ケハ十分ニ上リ得ラレル若シ一尺ヨリ

モツト高クシナケレハナラヌトスレハ一尺五寸テアリマスガ夫レテモ相當ニ有ツタ鮎ナラハ上  
 リ得ラレルヲテアリマス併シ大抵八寸カ或ハ一尺位ニ今マテ造ツタアルノテス其ノ  
 位ニシテ置ケハ十分ニ上リ得ラレルノテアリマスツレカラ此ノ水溜リノ長サナドハ六尺位ニシ  
 タノモアリマス或ハ三尺位ノモノモアリマスガ歐羅巴ノ鮎ヤ鱒テアルト云フト二米突カ二米  
 突半位ヲ標準ニシテ居リマスケレトモ鮎テアリマシタナラハ三尺位テモ差支ナイト考ヘルソレ  
 カラ幅ノ方ハ今マテ造リマシタ魚梯テハ三尺位ノモアリマスソレカラ六尺位ノモアリマス三  
 重縣ノ櫛田川ノハ上ノ方カ四尺テ下カ六尺酒匂川ハ上カ三尺テ下カ六尺位ノ幅ニナツテ居ル今  
 マテノハ大抵四尺カラ一間位ノ幅ニナツテ居リマシテサウシテ落差カ五分ノ一位カラ八分ノ一  
 位ニ接ヘテアル其ノ位ノ落差ニ就テハ今マテ上ツタ工合ニ依リマシテモ樂ニ上レテ居ルソレカ  
 ラ深サノ方ハ一尺位アレハ十分テ強ヒテソレ以上必要ハナイ五寸位アツテモ澤山テスソレカラ  
 各段ノ隔壁上ヲ溢レル水ノ深サハ三寸カ五寸或ハ二寸位テモ差支ナイ二寸位テモ此處ヲ越エレ  
 ハ直ク深クナリマスカラ此處ハ二寸カ或ハ一寸テモ差支ナイ兎ニ角其ノ深イ所テ一尺位ノ深サ  
 カアレハソレテ十分ト思ハレルノテアリマス  
 ツレカラ流量テアリマスカ水量ハ魚梯ダケヲ流レル水量ニシマストサウ澤山ハ要ラナイ今マテ  
 測ツタ三重縣ノ櫛田川ヤ其ノ他ノ例ヲ見マシテモ一秒時ニ五個カ六個ノ水カアレハソレテ魚梯  
 ヲ流ス水トシテハ澤山テアル餘リ魚梯ニ水カ澤山アリ過キマスト水カ混亂シテシマヒマシテ却  
 ヲテ魚ノ上ル場合ニ妨ケニナルヤウナ譯テアリマスカラ寧ろ極ク僅カノ水テ靜カニ上ノ所ヲ流  
 レテ行ク位ノ程度テ差支ハナイノテス併シ餘リ水カ少クテ全體ノ川ニ對シテ魚梯カラ出ル水カ  
 餘リ少クテ殆ト魚梯ノ口ヘ來テ流レナイ位僅カノ水テアリマスト魚ヲコチラヘ導イテ來ナイト  
 云フコトニナル川ノ方ハ非常ニ水カ澤山アツテモ魚梯ニ殆ト流レノナイヤウナ状態テアリマス

魚ハ口ツチへ這入ツテ來ナイ魚ヲ導カナイト云フヤウナコトニナリマスカラ兎ニ角魚梯ノ口  
 ノ所ハ流レカ相當ニアル位ノ程度ニ水ヲ出シテ置ク必要カアルノテアリマスソレカラ水ノ流レ  
 ル速度ハ極ク早クテ十尺位ノ速度マテハ極ク短距離ノ間ナラハ上ツテ行カレルケレトモ餘リサ  
 ウ云フ距離カ長クテハ到底上レナイ一秒ニ四尺トカ五尺或ハ三尺位ノ流レテアレハ一番適當ノ  
 ヤウニ思フ若シ速度カ随分早イトスレハ一箇所二尺三尺位ノ間ハ十尺位ノ速度テ流レテモ三尺  
 位行ツテ先キニ又一ツノ水溜リテモアルトカ或ハチヨツトシタ支ヘガアツテ其處カ幾ラカ流レ  
 カ緩ニナルト云フヤウナ餘地カアリマスレハソレテ上ルコトカ出來ルノテス併シ十尺以上ノ速  
 度カ二間モ三間モ續イテアルト云フト到底上レナイソレテアルカラ速度ト云フ點カラ行キマシ  
 タナラハ魚梯ヲ流ス水ノ速度トシテハ先ツ四尺五尺位ヲ一番早イ速度ニシタラ宜カラウト思フ  
 ソレテ若シ又非常ニ速度ノ早イ場合テ或ハ堰堤ノ狭ヲ流ス水路カラ魚ヲ上サウト云フヤウナ場  
 合テアリマシタナラハ其ノ底面ニ色々ノ石ヲモ置キマシテ水カ幾ラカ激シテ多少隙ノアルヤウ  
 ニ底ヲ拵ヘテ置ケハ随分流ハ早クトモ底ヲ潜ツテ上リ得ラレルコト、思フソコテ魚梯ハ斯ウ云  
 フ斜面ノ魚梯ニシマシテモンレカラ階段ノ魚梯ニシマシテモ其ノ底面トカ壁トカハ魚ヲ上スト  
 云フ方カラ見マスト餘リ滑カニシナイテ罅口岩タノ石タノデゴツゴツニシテ置イタ方カ却ツテ  
 魚ニハ良イ詰リ天然ノ岩ノヤウナ工合ニシテ置イタ方カ上リ良イヤウニ思ハレル隨分天然ノ川  
 テハコンナ所ヲ魚カ上レルカト思フヤウナ激流カアルニモ拘ラス隨分上流マテ魚カ行ツテ居ル  
 コトカ能クアリマスガ天然ノ川テアルト隨分急ナ瀧ニナツテ居ツテモ其ノ間ニ又川底ノ岩ノ蔭  
 ヤ色々ノ所ニ緩カナ所カアリマスシ又逆流ニナツテ居ル所カアル色々サウ云フ隙カアリマスカ  
 ラサウ云フ隙ヲ魚カ上ツテ行クツテアリマス人工ヲ造ツタ堰堤ヤ何カテ餘リ滑カニナルトサウ  
 云フ隙カナイ爲ニ絶對ニ上レナイト云フヤウナコトニナリマスケレトモ天然ノ岩ノヤウナ工合



堰堤ノ下ノ表面ヲ捲ヘテ置ケハ少シハ速度カ早クテモ上リ得ラレルコトハ思フ  
 ソレカテモウ一ツハ魚ノ上ル時期テアリマス魚梯ヲ造リマシテモ一年中ソレヲ使フ譯テナイノ  
 テアリマシテ鮎ニ就テ言ヒマスト地方ニ依ツテ多少違ヒマスケレトモ極ク早クテ一月二月カラ  
 五月迄ノ間テアリマス下流ノ方ハ幾ラカ時期カ早ク上流ニ行ケハ幾ラカ遅クナルデセウガ兎ニ  
 角一月頃カラ五月頃マテノ間カ盛ニ上ル時期テアリマス鯿モ同様テアリマスカラ其ノ時期ニ魚  
 梯ニ落ス水ノ量カ適當ニナツテ居レハ魚ニハ一番都合カ好イノラスソコテ吾々カ唯魚梯ヲ造リ  
 マシテモ少シ虞レルコトハ水力電氣ノ目的テ堰堤ヲ造ルト發電所カ二里モ三里モ下ニアツテサ  
 ヲシテ堰堤ノ處テ殆ト大部分ノ水ヲ取ツテシマフカラ此處ヘ魚梯ヲ捲ヘテモ發電所ニ落ス水カ  
 千個アツテモ魚梯ニハ五個カ十個ノ水シカ落チナイ僅カノ水テアル大部分ノ水ハ發電所ヘ取ツ  
 テシマフカラ二里三里ノ間ト云フモノハ川カ殆ト乾クヤウニナツテシマフサウ云フ風ニ乾クヤ  
 ウニナツテシマヒマスト第一魚梯ノ處マテ魚カ來ナイヤウナ心配カアル即チ川カ非常ニ小サク  
 ナツテ所々ニ水溜リガ出來極ク僅カノ流カ殘ツテ居ツテ殆ト川床ノ大部分カ乾クヤウニナツテ  
 シマフトキハ下カラ上ツテ來タ魚ハ堰堤ノ處マテ來ナイデモツト下ノ發電所ノ附近テ停滯シテ  
 シマフ若シサウ云フ風ニ水ガナクナツテ魚梯ヲ造ツテモ其處マテ魚ヲ導カヌコトニナルト役ニ  
 立たナイヤウナコトニナツテシマフノテス  
 ソレテ吾々ヨリ土木ノ方ヘ御註文シタイノハ相當ノ水ヲ川ヘ流シテ戴キタオノテス魚梯ヲ通過  
 スル水ト云フモノハ五個カ十個テ澤山テアリマスケレトモヤハリ堰堤ヲ越エテ溢レタ水カ少ク  
 トモ百個ヤ百五十個ハナイト魚カ寄ツテ來ナイソコテ魚ノ蕃殖保護云フ方カラ見マスト唯魚  
 カ寄ツテ來ナイト云フノミナラス鮎ナトノ餌ト云フモノハ岩ニ附イテ居ル水垢テアリマス是カ  
 上流ノ方ニ行キマスト下ノ岩ノ下ニ何カニ一杯附イテ居ル以テ越エテ鮎ヌテ鮎カ生育シテ行クノテ

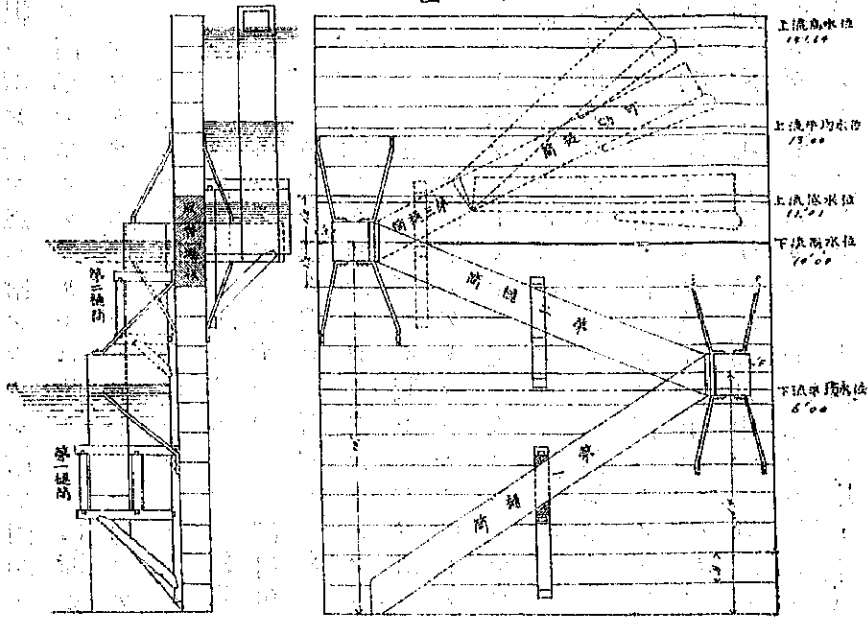
アルカラ若シ此ノ二三里ノ間水ガ乾イテシマヒマスト所謂其ノ餌ニナルモノカ皆ナ乾イテシマツテ餌カナクナツテシマフ唯魚カ来ナイノミナラス餌カナクナツテシマツテ完全ニ大キクナルコトカ出来ナイ斯ウ云フヤウナ結果ニナリマスカラ川全體ノ水量カ非常ニ減リマスト魚ノ方ニハ育チカ悪クナルト云フヤウナ影響ヲ被ムルノテスサウ云フ關係テ堰堤ヲ築イテ全部水ヲ取ツテシマフト云フコトハ私共カラ見マスト望マシクナイソテアリマシテ唯魚梯ヲ造レハ宜イ又魚梯カラ流ス水ハ十個ナラ十個ノ水テ宜イト言ヒマシテモ若シ全體ノ川ニ水カナケレバヤハリ其ノ効力ヲ表ハサナイコトニナリマスカラシテ兎ニ角今申シマシタ二月頃カラ五月頃マテノ間タケハ相當ノ水ヲ落スト云フヤウニ出来レハ願ヒタイノテアリマス今マテ千個トカ二千個トカ流レテ居ツタ川カ急ニ百個トカ二百個ニナレハ前ホトニ餌ヲ取ルコトモ出来マセヌ故ソレテモ大分影響ハアルノテアリマスケレトモソレハ水力電氣事業ノ如キモノニ比較シテ漁業ノ生産ナトハ僅カノモノテアリマスカラ已ムヲ得ナイトシマシテモ兎ニ角沿岸漁民ノ生活上ニハ大ナル影響ノアルモノテアツテ幾分テモ上流ニ上ラセレハ餌モ十分得ラレ成育モ能ク漁民ヲ喜ハスコトカ出来ルノテアリマスカラ上流マテ魚ヲ上ラセルト云フ目的ハ違セラル、ヨウニシタイノテアリマス而シテ其爲ニハヤハリ相當ノ水量ヲ出シテヤラナケレバナラヌノテアリマス併シ今マテ私ノ承知シテ居リマス範圍内テハ大抵冬ノ間一月二月頃ハ随分水カ涸レテ少イト云フコトヲ聞キマスガ四五月頃ニナルト豫定ノ水量ヨリ多イト云フ場合カ多ク川ニ相當ノ水カ落チルト云フヤウナ状態ニナツテ居ルヤウテアリマスカラサウ心配ズルヤウナ模様テハアリマセヌケレトモ全然水ヲ取ツテシマフト云フコトハ餘程魚類ニハ影響スル譯テアリマス

以上ハ鮎ニ就テ申シマシタノテスカ今度ハ鰻ノコトニ就テモウ少シ申上ケタイト思フ此ノ鰻ニ就キマシテ日本テ魚梯ヲ造リマシタノハ先程申シマスカウニ石山ノ下ノ南郷ニ水産講習所デ試

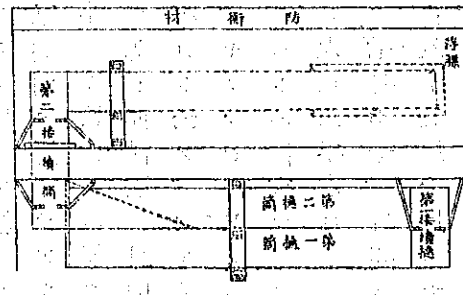
圖 梯 魚 鰻

圖面斷縦

圖面正



圖面平



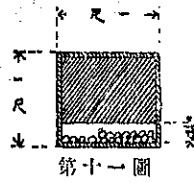
第十圖

驗的ニ小サナ一僅カ一尺方形ノ樋ヲ附ケタノガアルダケテ外ニハ例ハアリマセヌガ鰻ノ魚梯ト云フモノハ船ト餘程趣キヲ異ニシテ居リマス鰻ト云フモノハ船ト違ヒマシテ暗イ所ヲ好ミ明ルイ所ヲ嫌フソ

レテ又飛ンテ行クナト、云フコトハシマセヌノテ暗イ穴ヤ石ノ間ナトヲ傳ハツテ通ツテ行クノテナンテモ暗イ方ヲ行クト云フノカ鰻ノ性質テアリマスカラ魚梯モ鰻ヲ目的トスルモノニ對シテハサウ云フ目的「拵ヘルノテ」スソコテ此ノ南郷ニ造リマシタノハ木ノ樋ヲ一

參考資料 魚梯ニ就テ

ツノ堰板へ斯ウ云フ風ニ附ケタノテ(第十圖)此ノ傾斜ハ二分ノ一位ニシマシテ上流ノ方へ口ヲ出シタ極ク簡單ナモノデアリマス此ノ樋モ内部カ全ク空テハ上リカ悪イノテ内部へ小石ヲスツカリ填メテサウシテ水モ餘リ多ク通シテハ却ツテ上リカ悪イノテ樋ノ上ノ口ノ所ハ大部分ハ塞イデシマツテ一寸バカリ開ケテ其處カラ水ヲ入レルタケテ全體カラ入レルト多過キ(ア)ノデアリマ



ス此ノ一寸バカリノ口カラ這入ツテ砂利ノ中ヨリ通ツテ水カ落チルト云フ工合ニ捨ヘテアル(第十一圖)是ハ瀬田川ノ全體カラ見レハ僅カ一尺バカリノ所デアリマスカラ極ク僅カナ面積デアリマシテコンナ廣イ川幅ノ所へコンナ小サナモノヲ造ツテモ上ルカドウカト云フコトハ私共初メ疑問テアツタ然ルニ之ヲ通過スル鰻ノ數ヲ調ヘテ貫ヒマシタ所カ案外小サイ割合ニハ能ク上ツテ居ルノテ茲ニ一ツ統計カアリマスカラ申上ケマスガ先ツ此試驗ノ目的ハ一ツハ何月頃主ニ上

ツテ居ルカト云フコト、ドノ位ノ大キサニナツテ上ルカト云フコト、ソレカラ晝間上ルカ夜上ルカ時間ハ何時頃上ルカ斯ウ云フコトヲ調ヘル目的チヤリマシタソレニ依ツテ大正四年度ニ調ヘタ結果ヲ申上ケマスト云フト——勿論毎日ハ調ヘルコトハ出來マセヌノテ時々一晝夜間上ノ口テ見テ居ツテ鰻カ出テ行クノヲ調ヘタノデアリマス大正四年六月申ニ調ヘタ日數カ十三日間アリマスガ其ノ時ニ算ヘタ數カ二千四十四尾ソレカラ七月申十三日間ニ六千六百六十三尾八月申十二日間ニ六千七百二十二尾九月申十二日間ニ千九百八十五尾十月ニナルトヤハリ十二日間ニ二百尾是タケ上ツテ居リマス此ノ結果ニ依リマスト月カラ言フト七月八月カ一番餘計上ルノテ十月以後ニナルト殆ト上ラナイ春ハ四月五月頃ニハ未タ上ラナイ是ハ私共ノ初メノ豫想テハ先程御目ニ掛ケマシタ小サイ鰻ノ子ト云フモノカ二月カラ三月頃ニ河口テ澤山獲レル其ノ時盛ニ上ツテ行クモノデアルカラ四月頃ニハ此ノ洗堰ニハ澤山來ルダラウト思ヒ又其ノ位ノ小サイノ

ガ上ツテ居ルト思ツテ居ツタガ實際ハ六月以後テナケレハ上ラナイノテ且ツ又大キサハ五六寸ノ鰻カ主ニ上ル此堰ノ處ニ來ル鰻ハ大抵其ノ位ノバカリテソレヨリ小サイ——先程御目ニ掛ケタヤウナ二寸位ノ鰻ト云フモノハ殆ト彼處ニハ上ツテ來ナイソレハ詰リ淀川ノ河口カラ南郷マテ來ル間ニ沼ヤ支流モアリマスカラサウ云フ所ヘウロツイテ居ツテ徐々ニ上ツテ來ルノテアリマス茲ニ御目ニカケルノハ川ニ溯上後二年位經ツテ居ル(標本供覽)上ツタ當年内テモ能ク育ツ者ハ此ノ位ニナリマスガ併シ二月上ツタ者カ六月ニ此大サニナルハ稀テナラヌノガ多イ是ヨリ少シ大キイノモ獲レマスガ先ツ二年三年ハ途中ニウロツイテ居リマシテ然ル後南郷邊マテ上ツテ來ルト云フコトヲ認メマシタ兎ニ角南郷テハ七八月頃ガ一番多ク上ル時期テアルト云フコトガ確メラレマシタソレカラ何時頃カ多ク上ルカト云ヒマスト日カ暮レテカラ夜間カ主テアル大正三年七月二十三日ノ例ヲ申シマス

午後	七時カラ	八時マテ	二百十三尾
同	八時カラ	九時マテ	二百八十一尾
同	九時カラ	十時マテ	二百〇三尾
同	十時カラ	十一時マテ	百六十三尾
同	十一時カラ	十二時マテ	百五十二尾
午前	零時カラ	一時マテ	百〇八尾
同	一時カラ	二時マテ	五十一尾
同	二時カラ	三時マテ	百八十一尾
同	三時カラ	四時マテ	三百七十一尾
同	四時カラ	五時マテ	六十一尾

同 五時カラ 六時マテ

ナ 一ジ

詰リ夜方明ケテ明ルクナツテカラハ殆ト上ラナイ夜ノ間ニ主ニ上ツテ居ルノテアリマス夜モ而カモ極ク暗イ時カ多ク上ルヤウニ思ヒマスソレテスカラ鰻ノ魚梯トシマシテハ成ヘク暗クシマシテ水モ極ク流レヲ緩ニシマシテ石ヤ何カラ澤山置イテ其ノ間ヲ傳ハラセルノテアリマス隨分鰻テスト直立ノ壁テモ自分ノ體ノ長サ位ノ所ハ上リ得ラレル飛上ルコトハ出來マセヌケレトモ傳ハルモノカアツテ且ツ其モノカ濕ツテ居ツテ其處ニ水カチヨロチヨロ流レテ居マスレハ上リ得ラレルノテアリマスデアルカラ割合ニ鰻ノ方ハ上スコトハ樂テアリマス

ソレテ日本テハ前ニ申シマスヤウニ魚梯ヲ造ルトスレハ鰻ト鮎ヲ本ニシテ造ルコトカ必要テアリマスガ此ノ鰻ノ魚梯ト鮎ノ魚梯トハ別々ニ造ラヌテモ一ツテ兩方ノ爲ニスルコトカ出來マスソレハ斯ウ云フ斜面ノ場合ナラハ鮎タケノ目的ヲ達ヘテ置イテモ其ノ儘鰻ハ無論上ツテ行ケルソレカラ階段ノ式ニシマシテモ速度カ餘リ強クナケレハ底ヲ傳ツテ行クコトモ出來マスシ若シ上リ易イヤウニスルトスレハ石カ岩ノヤウナモノテ壁面ヲゴツゴツサジテ置ケハ其處ヲ傳ハツテ兩脇ノ壁ノ所ヘ沿フテ行キマスカラ兎ニ角鮎ノ魚梯ト云フモノヲ完全ニ拵ヘテ置キマシテソレヲ少シ加減スレハ鰻ニハ無論應用出來ル譯テアリマス大體今マテ經驗致シマシタコトハソノ事テアリマシタガ餘リ長クナリマスカラ此ノ位ニシテ御免ヲ蒙リマス

○岐阜縣堰掘理事官「チヨット御伺ヒシタウゴザイマス私ノ方ノ縣テハ丁度水力電氣ノ場所カ澤山アリマシテイツモ魚族ノコトニ就テ問題カ起ツテ甚タ解決上度々困テ居リマスガ今ノ御話ノ水路ノ取入口カラ合流スル所マテ一里ガ二里ノ間魚ヲ導ク爲ニ平素水ヲ流スト云フコトハ御尤モノヤウニ考ヘマスガ其ノ量ノ程度ニ就テ甚タ私共ハ分ラヌデイツモ問題ニナル電氣事業ヲヤ

リタイ人ハ成タケ多ク取リタイ魚ノ方カラ行ケハ少シテモ餘計流シタイト云フノテ甚タ困リ  
 マスカ何カ其ノ量ヲ極メルニ就テ標準ト云フモノカアルデセウカ或ハ所ニ依ルト富山縣ノ神  
 通川ノ如キ先年農商務省テハ四百個位ナケレハイカヌトカ云フ御話カアツタガ四百個ト云フ  
 澤山ノ水ヲ流ストナレハ水力電氣ト云フモノハドゥスルコトモ出來ナイト云フヤウナコトヲ  
 言ツテ會社ノ技師カ大變憤慨シテ居リマシタソレテ水カ涸レルト云フト水垢カ涸レテ魚カ上  
 ラヌト云フコトハ理窟上ウツテアリマセウガ實例カラ見ルト云フトドゥモ私共ニハサツバリ  
 分ラヌコトニナル私ノ方ノ揖斐川木曾川長良川其ノ他ニ鮎カ居リマスカ揖斐川ノ如キハ山間  
 部ヲ出マシテ來ルト澤山ノ用水カアツテ旱魃カ續クト一里カ二里ノ間殆ト水カ川ニハナイコ  
 トニナリマスデサウ云フ年ニハ鮎ハ餘程上へ上ルノカ少イカト云フニサウ云フ水カ切レルコ  
 トノナイ長良川トカ木曾川等ニ鮎ノ上ル時ニハヤハリ上リマス其ノ川ハ隨分鮎ノ名産地テア  
 リマシテ其處テハ立派ナ鮎カ澤山獲レルノテアリマスガ旱魃ノ年ニハ他ノ二ツノ川ニハ能ク  
 上ルカ其ノ川ニハ上ラヌカト云フトサウ云フコトモナイ他ノ川ニ上ル年ニハ其ノ川ニモ上ル  
 他ノ川カ少ナケレハ其ノ川モ少イノテ十日モ二十日モ川カ涸レテ居ツテモ格別上流ニ魚カ上  
 ルノヲ妨ケヌヤウニ思ヒマス水力電氣ノ出願者ハサウ云フコトヲ例ニ引イテ旱魃ニハ水カ涸  
 レテモ差支ナイヤウニ思ハレルカラ云々ト言ツテ居リマスガサウ云フノハ何カ雨テモ降ツテ  
 水ノ出ル時ニ一時ニ上ルト云フヤウナモノテアリマセウカ

○日暮水産講習所技師 ソレハ雨ナトカ降ツテ水カ出タ場合ニ一時ニ上ルモノト思ハレマス御  
 實問ノ何個位ヲ最少限度ニシタラ宜イカト云フコトハ私共尙ホ研究中テアリマシテ確ニ何個  
 ナケレハナラヌト云フコトハ申サレマセヌガ今マテ鮎ノ居ル箇所テモ百個ニ足りナイ位ノ僅  
 カノ水ノ流レノ川テモ隨分上ツテ行ク川モアルデスカラ何百個ナケレハ全然上ラレヌト云フ

コトハドウモ申セナイト思フ百個テモ五六十個テモ上ル川モアルノテゴザイマスカラ全然上ラレナイト云フコトハ申シマセヌケレトモ今マテ何千個ト云フヤウナ千個以上モアル大キナ川テアツテ急ニソレカ極ク小サナ川ニナツテシマツタ場合ニハ今マテホド上リカ良クナイト云フコトニナルコトハ免レナイカト思フ併シ其ノ何個ト云フコトハドウモ確定シタ標準ヲ私共申ス譯ニ行カナイノテアリマス(完)

## 埃太利國ニ於ケル砂防工事ニ就テ

本文ハ東京農科大學教授林學博士諸戸北郎氏カ曾テ内務省ニ於テ講演セシ所ナルカ工學上ノ參考トシテ有益ナル事項ト思惟セラレ、以テ特ニ之ヲ登載ス

私ハ唯今局長カラ御紹介ニナリマシタ諸戸北郎テアリマス埃太利ノ砂防工事ニ就テ何か話ヲセヨト云フコトテアリマスカラテ、ヨツト一時間ホト御清聴ヲ煩ハシマス私カ埃太利ニ居リマシタノハ今カラ凡ソ五年前テアリマスカラ餘程事情モ變ツテ居リマシヨウシ又今日ハ非常ナ歐洲ノ大亂テアリマスルカラシテ砂防工事モ多分ヤツテ居マイト考ヘマスカラ餘程事情ハ違ツテ居リマスガ是ハ五年前ノ舊聞ト思ツテ御聴キヲ願ヒマス又埃太利ハ今日テハ我カ國ニ對シテ敵テアリマスカラ敵ノ進歩シタ所ヲ御紹介スルト云フコトハ寔ニ遺憾ニ感シマスルカ是ハ又別ノ問題トシテ其ノ進歩シタ所ハ御採用ニナツテ御參考ニ供セラレンコトヲ希望致シマス

ソレテ此ノ埃太利ト云フ國ハ埃匈國ト言ヒマシテ普通ハ匈牙利ト聯合シテ一ツノ國ヲ作ツテ居ルノテアリマスルガ實際ニ於キマシテハ各獨立ノ國テコサイマシテ其ノ共通ナノハ同シ陸下ヲ戴イテ居ルト云フ事ト外務省ト陸海軍省カ共同テアルノトモウ一ツハ兩方ノ共同ノ兵力テ千八